

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公開番号】特開2016-140423(P2016-140423A)

【公開日】平成28年8月8日(2016.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-047

【出願番号】特願2015-16590(P2015-16590)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/15 (2006.01)

A 6 1 B 3/024 (2006.01)

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/14 F

A 6 1 B 3/02 F

A 6 1 B 3/14 B

A 6 1 B 3/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月26日(2018.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼科装置であって、

表示面を有し、前記表示面の表示領域に視標を表示するディスプレイ部と、

前記表示領域に表示される表示像を、レンズを介して被検者眼の眼底に投影する投影光学系と、

前記投影光学系の光軸に交差する交差面上に配置される前記表示面を、前記交差面上で変位させる変位手段と、

前記眼科装置の動作を制御する制御手段と、

を備え、

前記制御手段は、前記変位手段による前記表示面の変位に基づいて、前記表示領域に表示する前記視標の表示位置を決定することを特徴とする眼科装置。

【請求項2】

請求項1に記載の眼科装置であって、

前記眼底に固視標を投影する固視標投影手段を備え、

前記制御手段は、前記眼底上における前記固視標の投影位置が固定された状態で、前記変位手段によって前記表示領域の眼底への投影領域を変位させることを特徴とする眼科装置。

【請求項3】

請求項2に記載の眼科装置であって、

前記ディスプレイ部は、前記視標と共に前記固視標を前記表示領域に表示することで前記固視標投影手段を兼用し、

前記制御手段は、前記変位手段によって前記表示領域の眼底への投影領域を変位させる場合に、前記表示領域に表示する前記固視標の表示位置を変更することで、前記眼底上における前記固視標の投影位置を維持させることを特徴とする眼科装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

眼科装置であって、表示面を有し、前記表示面の表示領域に視標を表示するディスプレイ部と、前記表示領域に表示される表示像を、レンズを介して被検者眼の眼底に投影する投影光学系と、前記投影光学系の光軸に交差する交差面上に配置される前記表示面を、前記交差面上で変位させる変位手段と、前記眼科装置の動作を制御する制御手段と、を備え、前記制御手段は、前記変位手段による前記表示面の変位に基づいて、前記表示領域に表示する前記視標の表示位置を決定する眼科装置であって、表示面を有し、前記表示面の表示領域に視標を表示するディスプレイ部と、前記表示領域に表示される表示像を、レンズを介して被検者眼の眼底に投影する投影光学系と、前記投影光学系の光軸に交差する交差面上に配置される前記表示面を、前記交差面上で変位させる変位手段と、前記眼科装置の動作を制御する制御手段と、を備え、前記制御手段は、前記変位手段による前記表示面の変位に基づいて、前記表示領域に表示する前記視標の表示位置を決定する。